

# 小野田赤十字病院 救護班が、 日本赤十字社山口県支部 救護班第3班として出発

平成23年3月17日（木）



東北関東大地震により被災された方の救護のために、小野田赤十字病院救護が、被災地に向け出発しました。

救護の構成は、班長である医師1名、災害看護の研修を受けた看護師3名（師長1名含む）、災害救護訓練を受けた主事2名

（1名は、赤十字救急法指導員の資格あり）と山口県支部の主事2名の計8名。

8時20分より、小野田赤十字病院玄関前で出発式が行われました。日本赤十字社山口県支部の片山事務局長及び水田病院長よりの激励のあと、一人一人決意を述べ、山口宇部空港へ向かいました。



当初、関東地方まで新幹線での移動の予定でしたが、ANAグループの渡航協力により、無償で羽田空港までいけることになりました。



空港到着後、先発隊（山口県支部救護班第2班）と松戸で合流、引継ぎ後、小野田赤十字病院救護班は車両3台で移動し、23時30分に本社より指示の石巻赤十字病院へ到着しました。